

カツラ (コウノキ)

カツラ科 カツラ属 (落葉高木)

学名 : *Cercidiphyllum japonicum* 英名 : Katsura tree



- ・葉：円くて広卵形～卵円形、縁は円い波状（鈍鋸歯）、鋸歯の先の腺点に小さな水玉がつく
基部は浅い心形、長枝では2列になってつく（対生）、赤みを帯びた葉柄あり
葉や枝が春は紅色、秋は黄色
- ・幹：皮は灰褐色、若木は平滑、老木は深く縦に裂けて、薄い片となつてはがれる
- ・枝：2本ずつに分岐してのびる、鋭角度で斜上する
- ・冬芽：対生かやや対生、長だ円状卵形または三角錐形、先端は尖る、2枚の芽鱗
仮頂芽は2個、側芽とほぼ同形
- ・葉を乾燥させると甘い香りがする→香の木、香出（かつ）→カツラ
- ・縁桂（乙部町）